



1月給食たより

令和4年 1月 8日
練馬区立練馬小学校
栄養士 白鳥 慧

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。あつという間に3学期がはじまりましたね、冬休みはゆっくりと元気にすごせましたか？寒い日はまだまだつづきますので、引き続き体調を崩さないように注意していきましょう。



皆さんは、給食で苦手な食べ物が出たら、どうしていますか？ 全く手を付けずに残している人もいるかもしれませんが、ひと口でいいので食べてみてください。初めは苦手でも、食べ慣れることでだんだんとおいしく感じるようになっていきます。また、味覚は成長とともに変わっていくので、苦手だと思っていたものでも、食べてみたらおいしかったということもあります。

小さいころから、さまざまな味の経験を積むことで、豊かな味覚が育ちます。今年は「寅年」、苦手な食べ物にもぜひ「トライ」してみてくださいね！



1月の給食から

～給食はじめ～

お正月から少し時間がたっていますが、はじめの給食は年明けを祝うような献立をつくりました。

～19日:北海道郷土料理～

1月の食育の日献立は、北海道から「石狩豆乳汁」です。石狩鍋を給食向けに少しアレンジして出します。サケで有名な石狩川の付近で生まれた漁師料理といわれています。江戸時代からサケ漁が盛んで、大漁の際はごほうびとしてこの鍋を作っていたそうです。今では家庭料理として広く伝わっています。

全国学校給食週間

日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。山形県のとあるお寺に開校された小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、食事を提供するのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食が広がっていきましたが、戦争の影響で中断されてしまいました。

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するために、アメリカからの援助物資で学校給食が再開されることになりました。そして、昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定められました。昭和25年度からは冬休みと重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」とし、毎年全国各地でさまざまな行事が行われます。

事務室の前に昔の給食がどんなものだったのか貼ってみました。見てみてください。

1月分学校給食費の集金にご協力をいただき、ありがとうございました。(引き落とし日:1月6日)